

1 学校教育目標

やさしく かしこく いきいきと

- ・「やさしく」とは、仲間と協力し、思いやりのある言動ができる児童
- ・「かしこく」とは、自ら進んで学び、考えを深める児童
- ・「いきいきと」とは、健康安全に関心を持ち、何事も最後まで粘り強くやり切る児童

2 目指す学校像

笑顔・希望・感動に満ちあふれ、誰もが成長を実感できる学校 ～希望の登校・満足の下校～

- ・学校は「笑顔・希望・感動」が満ちあふれる場所であってはならない
- ・節目節目で、児童がこれまでの道のりを振り返ったときに、成長を実感することができるようにする→自己肯定感、自尊感情を高める指導を

3 目指す教職員像

深い教育愛と強い使命感をもち、高い志のもと、日々研鑽に励む教職員

- ・教職員としての土台は「教育愛」である=この仕事を志した原点を忘れない
- ・生徒にとって最大の教育環境は、教職員自身である

4 目指す児童像

自分も仲間も大切にし、あたたかく認め合える児童

- ・互いのよさやがんばりに気づき、認めて伝え合える児童
- ・自分の行動に責任をもち、場に応じた言動を選び取れる児童
- ・協力し合い、よりよい集団を築こうとする児童

5 学校経営方針

生徒・教職員が共に学び合い、鍛え合い、高め合う学校づくりの推進

- ・全教職員の学校経営参画によって、「一貫した指導」と「認めてほめて励ます教育」を推進する。
- ・「明るい教室」「やさしい教室」「きれいな教室」で、「学び合い、鍛え合い、高め合う」
- ・三大行事(運動会・音楽会・校外学習)で児童を育てる

6 5つの重点と30の実践

(1) 確かな学力の育成

- 「主体的・対話的で深い学び」による授業の充実
 - ・指導技術の向上のために不断の努力を=指導技術の土台は、教師としての「志」
 - ・絶えず自己の専門性を更新していくための探求心と学び続ける意欲
 - ・「めあて」「まとめ」「振り返り」を大切に
- 基礎的・基本的内容の定着
 - ・土台は大切=見えないところで育つ根が、大輪の花を咲かせる。
- 健康教育・安全教育の充実
 - ・「積極的」な健康教育の充実 「早寝」「早起き」「朝ごはん」の定着
 - ・「積極的」な安全教育→「被害者」にも「加害者」にもならない
 - ・「自分の身は自分で守る」ための指導内容の工夫改善
- 情報活用能力の育成
 - ・情報モラル教育の充実→ネットトラブルゼロを目指して
 - ・情報機器の適切な活用による学力向上
- 全国・県学調結果の効果的活用
 - ・結果を分析し、日常の指導に生かす(教育相談・人権教育の視点からも)
- ユニバーサルデザインの視点による指導及び環境整備
 - ・誰にでもわかりやすい授業展開と学習活動の工夫
 - ・潤いと落ち着きのある教室環境の整備

(2) 心豊かな児童の育成

- 積極的な生徒指導・教育相談の推進
 - ・「目指す学校像」「目指す児童像」を実現するための信頼関係に基づく積極的な指導・支援を
 - ・認めて褒めて励まして、叱って諭し、伸びた姿を認めて褒めて励まして!
- 学年・学級経営の充実
 - ・最後は「人」である→信頼関係の構築のための手立て
 - ・「楽しく・厳しく・あたたかい」学年・学級経営を
 - ・美しい環境には美しい心が育つ→神は細部に宿る 季節感ある栽培活動・掲示物

○道徳教育・特別活動の充実

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育→「要」としての道徳科の授業改善
- ・教師の適切な指導の下に、児童の自発的、自治的な活動が効果的に展開される特別活動の推進
- ・6年生が手本となり、一人一人が活躍できる縦割り活動の推進
「つ上の目標「来年はこうなりたい!」と憧れの最高学年「6年生って格好いい!」

○未来を拓く進路・キャリア教育の推進

- ・世の中の役に立つ人間に育てる
- ・児童が自己の生き方について考えを深めることができる指導

○インクルーシブ教育の推進

- ・障がいの特性等に応じた適切な指導・支援
- ・特別支援学級と通常学級の交流促進(計画的・継続的に)
- ・通常学級に在籍している児童への支援
- ・特別支援教育並びに人権教育に関する教職員研修の実施

○児童一人一人に適した指導・支援

- ・十人十色、これまでの学びの積み重ねも育ってきた環境もさまざま
- ・児童の机上、挙手・発言、目線・しぐさなど細やかに見取ること
- ・「みそあじ(身だしなみ・掃除・挨拶・時間)」から分かることもある

(3) 学校の組織力・教職員の資質向上

○組織による迅速・誠実・的確な問題解決

- ・細かいことでも共有を→相談しやすい環境を
- ・問題発生時は、対応策を検討→教頭・主幹教諭→校長
迅速な「報・連・相」=よい知らせの共有も
- ・本校には「通常学級」「特別支援学級」「通級指導」と3部門あることを常に意識して情報を共有して対応する→配布物や連絡の不備がないように

○関係機関等との連携による包括的支援

- ・市役所、児童相談所、警察など多職種連携の強化を図り問題の解決、改善を
- ・専門的な知識を有する外部人材との有機的な連携により、複雑な課題に対応する

○県・市等研修会への積極的な参加

- ・自律的・能動的な研修参加→時間的余裕と経済的支援の保障の確立
- ・ライフステージに応じた研修と教職員としての未来を見据えた研修を

○校内研修を活用した指導技術の向上

- ・学校は、指導技術の宝庫!
- ・ベテランの先生方は若手育成にお力を!若手の先生方は先輩方の授業から宝物を見つけよう!
- ・お互いに自己の実践を語り合い、専門的な議論を深め、成長や努力を認め合う
「学習する教職員集団」

○校内 OJT の効果的な実施

- ・教科指導、学級経営に関して部会や学年会で
- ・教育公務員としての服務及び社会人としてのマナーに関すること
- ・年次研修等のレポート、職員会議の資料などを通して文書作成を学ぶ

○校務分掌による教育活動の実施・評価・改善

- ・PDCA サイクルによる教育活動の改善
- ・現状維持から一歩前に
- ・教育活動のまとめと振り返りは即日実施＝「鉄は熱いうちに打て」

(4) 家庭・地域とともにある学校

○家庭学習の充実

- ・授業で学んだことを、確かなものとするための復習を
→授業における「まとめ」と「振り返り」で授業についての自覚を促す
- ・学習「場所」と「時間」の定着を

○学校の教育活動の積極的な情報発信

- ・メール配信システムの積極的な活用
- ・地域の会合での情報提供

○地域活動への参画・貢献

- ・富士見市主催の事業及び町会活動への積極的な参加＝地域があって、学校がある

○地域との協力・連携による学校環境整備

- ・学校応援団との連携
- ・保護者・地域と連携した児童の安心・安全の確保

○コミュニティ・スクール協議会の充実

- ・学校の教育活動、問題解決に向けた熟議
- ・地域の人的物的環境を生かした教育活動及び安心・安全な環境づくりの推進

○小中連携教育の推進

- ・授業参観や T.T.による中学校との連携推進
- ・あいさつ運動及び小中合唱交流会の拡大
- ・「いのちの授業+」による教育活動の充実

(5) 安心・安全・快適な学校

○教職員としての崇高な使命と誇りの自覚

- ・すべての子どもを愛し、大切に育てる プロとしての責任を果たす
- ・「先生の笑顔が子どもの笑顔をつくる」子どもにとってよき手本となる言動
- ・主体性を生かした倫理確立委員会の実施・報告及び教職員事故に関する情報提供

○人権教育の視点による指導の推進

- ・人権感覚育成プログラムの活用(学級活動等)
- ・教職員の人権意識の向上を目指した研修の実施

○過去の災害等の教訓に学ぶ安全管理・指導

- ・毎月の安全点検の確実な実施及び内容の集約、計画的な修繕等
- ・危機管理能力を高める安全指導・避難訓練
- ※安全に関することは指導しすぎることではない

○校地内環境整備の推進

- ・計画的な修繕と積極的な廃棄処分
- ・「気付き・考え・行動する」清掃指導→清掃用具の適切な管理も

○教育活動に関する保護者・地域への説明責任

- ・評価の視点の明確化と評価資料の積み重ね

○教職員の働き方改革の推進

- ・「働き方」と「働き甲斐」のバランス
- ・「ふれあいデー」と「計画年休」で心身のリフレッシュを
→年休は、健康なときに取得するもの
- ・早めの退庁を、常に、お互いに心掛ける